

# リリースごとのAireOS機能の一覧表示

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[バージョンごとの機能の概要](#)

[8.10.181.0](#)

[8.10.171.0](#)

[8.10.151.0](#)

[8.10.142.0](#)

[8.10.130.0](#)

[8.10.120.0](#)

[8.10.112.0](#)

[8.10.105.0](#)

[8.9.111.0](#)

[8.9.100.0](#)

[8.8.130.0](#)

[8.8.125.0](#)

[8.8.120.0](#)

[8.8.111.0](#)

[8.8.100.0](#)

[8.7.102.0](#)

[8.6.101.0](#)

[8.5.103.0](#)

[8.4.100.0](#)

[8.3.111.0](#)

[8.3.102.0](#)

[8.2.151.0](#)

[8.2.141.0](#)

[8.2.110.0](#)

[8.2.100.0](#)

[8.1.131.0](#)

[8.1.122.0](#)

[8.1.111.0](#)

[8.1.102.0](#)

[8.0.140.0](#)

[8.0.132.0](#)

[8.0.120.0](#)

[8.0.110.0](#)

[8.0.100.0](#)

[7.6.120.0](#)

[7.6.100.0](#)

[7.5.102.0](#)

[7.4.150.0](#)

[7.4.140.0](#)

[7.4.130.0](#)

[7.4.100.0](#)

[7.3.112.0](#)

[7.3.101.0](#)

[7.2.110.0](#)

[7.2.103.0](#)

[7.1.91.0](#)

[7.0.252.0](#)

[7.0.251.2](#)

[7.0.220.0](#)

[7.0.116.0](#)

[7.0.98.218](#)

[7.0.98.0](#)

[6.0.202.0](#)

[6.0.188.0](#)

[6.0.182.0](#)

[バージョン6.0より前でサポートされる機能](#)

## 概要

このドキュメントでは、ワイヤレスLANコントローラ(WLC)で使用可能な機能と、サポートを開始したコードのバージョンについて説明します。

## 前提条件

注：特定のリリースの詳細については、次のリリースノートを参照してください。[AireOS – リリースノート](#)

## 要件

AireOSワイヤレスLANコントローラに関する知識があることが推奨されます。

## 使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

# バージョンごとの機能の概要

注: Cisco 1040シリーズ、1140シリーズ、および1260シリーズアクセスポイント(AP)は、Cisco Wireless Release 8.0と同等の機能を備えています。Cisco Wirelessリリース8.1以降で導入された機能は、これらのアクセスポイントではサポートされていません。

## 8.10.181.0

- 新しいハードウェアリビジョン9105/9120/9130のサポート(Field Notice <https://www.cisco.com/c/en/us/support/docs/field-notices/724/fn72424.html>)

## 8.10.171.0

コントローラでHTTP Strict Transport Security(HSTS)ポリシーを有効にすると、HTTPSプロトコルを使用するクライアントブラウザでのみコントローラGUIにアクセスできます。

## 8.10.151.0

- WLANごとの802.11axサポートの有効化/無効化のサポート
- ランダムMACフィルタリング。ランダムMACアドレスを持つクライアントの拒否を設定できるようになりました
- IW6300のUSBサポート
- IW6300用の大容量メモリとNANDフラッシュアップグレード

## 8.10.142.0

- Advanced Scheduling Request:OFDMAの帯域幅要件を指定するクライアントのサポート
- ECDHE\_RSA\_AES\_128\_GCM\_SHA256暗号のサポート
- このリリースから、新しいSSIDおよびWLANプロファイル名の先頭には最大4つのスペースを使用できます。SSIDまたはWLANプロファイル名の先頭に4つ以上のスペースがある場合は、エラーメッセージが表示されます。
- 管理パスワード用のType-5 Encryption Protocol(TIP)のサポート

## 8.10.130.0

- 9105アクセスポイントのサポート
- 9130 tri-radioダイナミックモードのサポート
- 9130用アップリンクMU-MIMO
- シスコアクセスポイントで強力な暗号をサポート
- AP 4800はwipsモードを優先
- コントローラおよびAPユーザに対するユーザ名とパスワードの要件の強化
- 9117用の新しいAPイメージバンドル
- 複数のVLANに対する信頼性の高いWGBダウンストリームブロードキャスト
- DNA Center Assurance Wifi6ダッシュボード(EFT)
- LAGサポートを1850に拡張
- APグループでのNTPサーバ設定のSNMPサポート

- コントローラは管理用にHTTPS経由で完全な証明書チェーンを送信するようになりました。
- ハードウェアDTLS復号化の9115および9120サポート
- 9115でのスペクトルインテリジェンスのサポート
- 9130のULおよびDL OFDMAサポート
- バーレーン、エジプト、インド、インドネシア、日本、ロシア、台湾における規制区域の変更。

## 8.10.120.0

- FIPS認定用APブートアップでの暗号化コンポーネントのPower-On-Self ( POST ; 電源投入時自己診断 ) テストのサポート
- 新しいWLANでは、FT over-the-DSはデフォルトで無効になっています
- WGBの信頼性の高いマルチキャストおよびブロードキャスト
- IW6300の機能 : RAPデジチェーン、複数のイーサネットポート処理、
- WLAN名ではなくプロファイル名ごとのアンカーサポート
- DHCPが必要な場合のFlex LocalスイッチングでのIPソースガードの適用
- Flex StandaloneモードでのRLANローカルスイッチング
- 9130 static tri-radio mode

## 8.10.112.0

- Catalyst 9130-AXのサポート
- スタティックBSSカラーリング
- WiFi6 APでのFastLocate
- アンテナ監視および検出システム
- WGBモードでのWave 2 APの証明書の自動登録
- AP認証用のセキュアUDI証明書
- ローカルEAP認証でのEAP-FAST用のTLS 1.2
- デフォルトのユーザ名とパスワードを使用したAPへのコンソールアクセスはサポートされていません。APコンソールにアクセスするには、デフォルト以外のユーザ名とパスワードを使用して、コントローラAPグローバルクレデンシャルを明示的に設定する必要があります。
- センサーモードのAPはサポートされなくなりました

## 8.10.105.0

- 9130-AXIのサポート
- 9120AX、9120AXPのサポート
- Wave 2 APのメッシュモード
- Wave 2 APでのエアタイム公平性のサポート
- 1800s、9115、9117、9120、IW3700、Cisco 6300組み込みAPなど、より多くのAPにインテリジェントキャプチャのサポートを追加
- WPA3のサポート
- Openサポートの強化
- Wi-Fi Alliance Agile Multiband(MBO)のサポート
- SNMPv3によるSNMPトラップ
- -Pドメインのサポート
- RADIUSアカウントテリングによるアクセスポイントイベントの送信

- パスワードの暗号化
- APグループごとのNTPサーバ

## 8.9.111.0

- Catalyst 9120-AXIアクセスポイントのサポート

## 8.9.100.0

- Catalyst 9115および9117アクセスポイントのサポート
- HE PHYレイヤ ( および新しいMCSレート ) のサポート

## 8.8.130.0

- 新機能なし

## 8.8.125.0

- 新機能なし

## 8.8.120.0

- -Pドメインのサポート
- Bluetooth Low Energy(BLE)USB Dongleのサポート
- Wave 2 APS(1560/2800/3800):Workgroup Bridgeイメージソフトウェア
- WLCでの4000 WLANのサポート(「config wlan 4k-ssid enable」を使用)
- Mobility Express : メッシュ(Flex+Bridge)のサポート
- Mobility Express:Mdnsポリシー

## 8.8.111.0

- Wave 2 AP:APがローカルモードの場合でも、RLANトラフィックのローカルスイッチングをサポート

## 8.8.100.0

- Wave 2 AP:Flex+Bridgeのサポート
- Wave 2 AP:4800でのeCA向けVxLAN AP Infra
- Wave 2 AP:AP 2800/3800/4800/1852のUSBポートをイネーブルにして、外部USBデバイスに電力を供給できます。
- Wave 2 AP:syslogファシリティのサポート
- Wave 2 AP : すべてのshowコマンドで'| include <string>'をサポート
- Wave 2 AP:Flex APのクライアント除外リストを表示するコマンド(**#show flexconnect client exclusion-list**)
- Wave 2 AP : スタティックIPアドレスに設定されている場合に、APのDHCPへのフォールバックを無効にする機能
- Wave 2 AP : ネットワークから時間を取得できるAP

- Wave 2 AP : レイヤ1情報のスニファモードの改善
- Wave 2 AP : 送信元/宛先IPに基づいてデバッグトラフィックをフィルタリングする機能(有線 #debugラフィックのフィルタリングなど)
- Wave 2 AP : キャプチャを.pcapとしてエクスポートする機能(#copy tmp APname\_capture.pcap0 tftp...)
- Wave 2 AP:apトレースログをクリアする機能(#config ap client-trace clear)
- Wave 2 AP : クライアントダウンストリームのUP値を確認するためのデバッグ(#debug capwap client qos)
- Wave 2 APs:APが送信した認証解除のログ数(#show dot11クライアントの認証解除)
- Wave 2 AP : 連続したTX失敗のログ数(#show controllers dot11radio 0/1 client aa:bb:cc:dd:ee:ff)
- Wave 2 AP : クライアントトレースでクライアントごとのレートを確認する機能(#debug dot11クライアントレートアドレスaa:bb:cc:dd:ee:ff)
- Wave 2 APs:Client count statistics(クライアントの#show約)
- Wave 2 AP : レガシー/高スループット(HT)/非常に高スループット(VHT)機能アダプタサイズメントの変更
- Wave 2 AP:#show dot11 interface dot11radio 0/1 statisticsの出力が改善されました
- Wave 2 AP:AP 2800/3800をセンサーに変換可能
- Wave 2 AP:AP 1815WでのRLANローカルスイッチングのサポート
- Wave 2 AP:NTPサポート
- Wave 2ファブリック : IPv6 Domain Name System(DNS)Access Control List ( ACL ; アクセスコントロールリスト )
- Wave 2ファブリック : 認証後IPv6 ACLのサポート
- ルートAP(RAP)上のダイナミックホストコンフィギュレーションプロトコル(DHCP)内部サーバ ( Flex+Bridge APモード )
- RAPでのネットワークアドレス変換(NAT)/ポートアドレス変換(PAT) ( Flex+Bridge APモード )
- APグループごとのスプラッシュページ設定 ( 同じSSIDに複数のスプラッシュページを設定できます )
- 動的なポリシーの適用/使用状況の監視
- Ethernet over Generic Routing Encapsulation(EoGRE)Virtual Local Area Network(VLAN)によるWLANのオーバーライド
- 高可用性(HA)のためのインターネットプロトコルセキュリティ(IPSec)暗号化
- Address Space Layout Redomization(ASLR)のサポート
- Network Based Application Recognition(NBAR)エンジン31およびプロトコルパック33.0へのアップデート
- Webhook
- Application Visibility and Control(AVC)プロファイルごとのデフォルトのDifferentiated Services Code Point(DSCP)マーキング
- debug arpがdebug clientに追加されました。
- bonjour/mDNS用のdebugコマンドが追加されました(debug mdns client, show mdns query stats, test mdsn)。
- 設定履歴を表示する機能(show logging config-history)
- Small Form-Factor Pluggable(SF)トランシーバ情報の表示(show port sfp-info)
- ID PSK peer2peer blocking
- 各デバッグセッションの開始時に追加されるプラットフォーム情報
- dhcp/httpプロファイリング履歴を表示するコマンド(show profiling { client |履歴})
- Network Mobility Services Protocol(NMSP)ポートを有効/無効にする機能(config nmosp service

enable/disable)

- グラフィックインターフェイスを介したYANGバンドルのアップロード転送のサポート
- wlanごとの無線ごとのクライアント数(show client ap { 802.11a } | 802.11b } <ap-name>)
- AVCがWLANで無効になっている場合、NetFlowを有効にすることはできなくなりました。

## 8.7.102.0

- Wave 2 AP:FlexConnect Passive Clientのサポート
- Wave 2 AP:FlexConnectプロキシアドレス解決プロトコル(ARP)のサポート
- Wave 2 AP : 無線/WLANごとのFlexConnect制限クライアントのサポート
- Wave 2 AP:FlexConnect VLAN名の認証、許可、アカウントिंग(AAA)オーバーライドのサポート
- Wave 2 AP:FlexConnect IPv6 ACLによるWeb認証のサポート
- Wave 2 AP:Management Frame Protection(MFP)のサポート ( 1800シリーズAPではサポートされません )
- Wave 2 AP : 有線802.1x Extensible Authentication Protocol-Transport Layer Security(EAP-TLS)およびProtected EAP(PEAP)のサポート
- Wave 2 AP:Bluetooth Low Energy(BLE)管理のサポート
- Wave 2 AP:AUXポートでのリモートLAN(RLAN)のサポート
- Wave 2 AP : サポート DHCPオプション60
- Wave 2 AP : ワイルドカードを使用したAPからの複数ファイルの削除またはコピーのサポート
- Wave 2 AP:show controllerのカウンタをクリアするために使用できるコマンド(#clear counters [ dot11radio |クライアント])
- FlexConnect IPv4事前認証DNS ACL
- 複数のConnected Mobile Experience(CMX)接続に対するHyperlocationモジュールのサポート
- CMXが選択されている場合、WLCはクライアントの受信信号強度表示(RSSI)データのみを転送します
- CMX APグループサブスクリプションに基づくクライアント統計情報の転送
- AP 1560および1542I/Dのデジチェーンのサポート
- BLEビーコンがデフォルトで無効になっているCleanAir
- RFプロファイルで設定可能なReceiver Start of Packet(RX-SOP)値のカスタムサポート設定
- 2.4 GHzでのAP 1562バックホール速度が向上
- ローカルMACアドレス認証と中央Web認証(CWA)のサポート
- AP 2800/3800の選択的クライアントパケットキャプチャのサポート
- Hypertext Transfer Protocol Secure(HTTPS)リダイレクションのためのWeb認証のスケールアップの改善
- 改善されたレーダー検出
- HAモニタには、スタンバイWLCのシリアル番号とファンステータスが含まれます。
- TCP Adjust MSSは、Flexconnect APおよびファブリックモードAPでもサポートされるようになりました

## 8.6.101.0

- ビーコンポイントモジュールのサポート
- Remote Authentication Dial-In User Service(RADIUS)アカウントング用のカスタムネットワークアクセスサーバ識別子(NAS-ID)

- ポリユーメータリングの最小間隔時間
- パスワードの最大文字数が24から127に増加
- ネットワークタイムプロトコル(NTP)バージョン4のサポート
- セキュアシェル(SSH)標準ログインインターフェイスのサポート
- 複数のトンネルゲートウェイ(TGW)の機能拡張によるEoGREの導入
- Cisco Wave 2 APのEoGREトンネル用DHCPオプション82
- Prime Infrastructure 3.3によるアクセスポイント(AP)およびワイヤレスLANコントローラ(WLC)ソフトウェアのローリングAPアップグレード
- Wave 2 AP : 有線802.1xのサポート
- [Wave 2 AP : スペクトルインテリジェンス](#)
- Wave 2 AP:CMX FastLocate
- IR829 AP803およびIW3700でのメッシュリーフノードのサポート

## 8.5.103.0

- WLC 3504のサポート
- AP 1540、1815m、1815tのサポート
- AP 1540、1560、1810OEAP、1810W、1815、1850、および1830のモニタサポート。
- APeXのサポート
- EoGREトンネルフェールオーバー
- Identity Pre-Shared Key(PSK)
- CNAME:IPv6のサポート ( IPv6を使用したPreAuth ACL )
- 2800/3800:Client-Ware Flexible Radio Assignment(FRA)のサポート
- Wave 2 AP:Spectrum Expertサポート
- Wave 2 AP : モバイルコンシエルジュのサポート
- Wave 2 AP:**show controllers dot11radio 0/1 antenna**コマンドの追加
- Wave 2 AP:**show controllers dot11radio 0/1 client <mac>**コマンドの追加
- Wave 2 AP:Collection of support bundle(**copy support-bundle { scp: | tftp: }**)
- Wave 2 AP : 無線リセットの履歴を記録します(**show history interface dot11radio { 0 | 1 } { reset | radar }**)
- Wave 2 AP:IPv6 PnP(Plug-n-Play)のサポート
- WGBでのダイナミックリンク交換プロトコルクライアントサポート(DLEP)
- Transmission Control Protocol ( TCP ; 伝送制御プロトコル ) : 最大セグメントサイズ(TCP MSS)がデフォルトで有効 ( 値は1250 )
- サポートバンドルを取得するGUIオプション
- AppleデバイスとIdentity Service Engine(ISE)RADIUSのベストプラクティスをモニタページに追加
- モニタページからのIPv6 pingテスト
- IW3702 : ローカルモードとFlexConnectモードでのエアタイムフェアネスのサポート
- IW3702:CLIによるRX-SOP
- ファブリック対応ワイヤレス
- 仮想ワイヤレスLANコントローラ(vWLC)でのHA N+1のサポート
- ISE : ゲスト発信URLのサポート

## 8.4.100.0

- AP 1815のサポート
- AP 1815Mのサポート
- AP 1542I/Dのサポート
- ゲストユーザ管理：クライアントの許可リスト
- ドメインベースのフィルタACL
- ISEの簡素化：Day0 RADIUS ISEのデフォルト設定
- ISEの簡素化：ISEサーバのデフォルトRADIUS設定
- ISEの簡素化：ISEサーバのデフォルトの無線ローカルエリアネットワーク(WLAN)設定
- Service Set Identifier(SSID)ごとのキャプティブポータルバイパス
- 802.1xタイムアウトによるクライアント除外
- 802.11ac Wave 2 APでのIPv6サポート
- 802.11ac Wave 2 APでのAP EoGREサポート
- 802.11ac Wave 2 APでの中央DHCPに対するFlexConnect NAT/PATサポート
- 802.11ac Wave 2 APでのクライアントサポートごとのFlexConnect AAA Quality of Service(QoS)オーバーライド
- TrustSecの機能拡張
- Cisco Umbrella WLAN:OpenDNSサポート
- WeChat認証
- FlexConnect:AP Easy Admin
- Hyper-VでのvWLCのサポート
- Flexconnect IPv6 EoGREトンネルのサポート
- 仮想WLC(vWLC)でのHA N+1のサポート
- AP 1560でのメッシュモードとメッシュワイヤネットワークブリッジングのサポート
- AP 702Wの有線ポートでのリモートLANサポート
- HA環境におけるCisco Hyperlocationのサポート
- 移行サポートにおけるリンク集約(LAG)
- APおよびWGBでのParallel Redundancy Protocol(DRP)の拡張
- NBAR2 Protocol Pack 19.1.0のサポート ( オプションで24.0.0にアップグレード可能 )
- AP 600、1550、1040、1140、および1260はサポートされない
- APごとまたはグローバルごとにsyslogサーバを無効にできる
- Web認証の成功ページを無効にするオプション
- 冗長ポート ( RPポート ) に対するshowコマンド
- fastlaneを有効にしてAVCプロファイルを追加する機能
- TPCv1チャンネル認識モード

### 8.3.111.0

- AP 1560のサポート ( ローカルモードのみ )
- AP 1815iのサポート
- AP 1810および1810 Wの有線ポートで最大4つのクライアント ( MACアドレス ) をサポート
- AP 2800/3800のTemporal Key Integrity Protocol(TKIP)サポート
- 適応型802.11r
- QoS FastLane  
無線周波数ID(RFID)およびWi-Fiタグのサポート
- 最大512個のローカルポリシーをサポート ( 以前は64個 )
- ローカルAAAデータベースが12000に増加 ( 2048年以前 )
- 米国連邦情報処理標準(FIPS):AP-WLCのControl and Provisioning of Wireless Access

- Points(CAPWAP)に対するData Datagram Transport Layer Security(DTLS)1.2のサポート
- FIPS:DTLSの新しいGCM暗号スイートをサポート
- FIPS : 新しい802.11暗号化モード
- FIPS:Simple Certificate Enrollment Protocol(SCEP)over HyperText Transfer Protocol over HTTPSによるローカルで有効な証明書(LSC)のサポート
- FIPS:IPsec設定はプロファイルベースです。
- FIPS:Syslog over IPsecのサポート
- FIPS:IKEv1/IKEv2のサポート
- FIPS:WLCによる証明書署名要求(CSR)の生成
- FIPS:TLSv1.2 webadminおよびwebauth独立の設定のサポート
- FIPS : 異なるCMXサーバ認証局(CA)証明書
- FIPS:TLSv1.2を使用したCMX接続のサポート

### 8.3.102.0

- 追加のイメージとインストール手順を使用したアップグレード ( AP 802、1550、および1570 )
- CMXクラウドコネクタ
- URLドメインフィルタリング
- AP Industrial Wireless Local Area Network(IWLAN)3700での – M規制ドメインのサポート
- CWAを使用した事前共有キー(PSK)ワイヤレスネットワークでNetwork Admission Control-RADIUS(NAC-RADIUS)を有効にするサポート
- Web認証のアンカーに対して外部からcalled-stationIDおよびCalling-stationIDを送信
- IPv6インターフェイス上でサポートされるIPSec上の簡易ネットワーク管理プロトコル(SNMP)
- IPv6インターフェイス上でサポートされるIPSec上のSNMPトラップ
- ap-mac-ssid-ap-group called-stationIDのサポート
- EoGRE:IPv6のサポート
- EoGRE : 内部Web認証およびWPA2-PSK用のWLANのサポート
- 複数のVLANでのWGBダウンストリームブロードキャスト
- FlexConnect:TrustSecのサポート
- FlexConnect : デフォルトのFlexConnectグループ
- FlexConnect:APは、中央でスイッチングされるWLANがある場合にのみCAPWAPマルチキャストグループに参加します
- PnPおよびComplex Programmable Logic Device(PLD)プログラマビリティ
- メッシュオフチャネルのバックグラウンドスキャン
- Wave 2 802.11ac AP上のOfficeExtended AP(OEAP)モード
- 無線リセットイベントのログ
- リカバリイメージ上のLink Layer Discovery Protocol(LLDP)
- メッシュ上のエアタイムフェアネス(ATF)
- APでのNBARエンジンのアップグレード(NBAR2 Protocol Pack 19.1.0)
- 802.11ac Wave 2 AP向けApplication Policy Infrastructure Controller(APIC-EM)PnP
- FlexConnect AP PnP向けAPIC-EM PnP
- デフォルトで802.11kおよび802.11vが有効
- アプリケーショントラフィックに基づくDSCP/ユーザプライオリティ(UP)設定
- Fastlaneのサポート
- FlexConnectローカルスイッチング802.11ac Wave 2 APでのプロキシARPサポート

## 8.2.151.0

- AP 1810/1830/1850/2800/3800のTKIPサポート

## 8.2.141.0

- Smart Dynamic Frequency Selection(DFS)を設定するコマンド(config 802.11h smart-dfs {enable | disable})

## 8.2.110.0

- AP 2800のサポート
- AP 3800のサポート
- AP 1810(W)のサポート
- AP -Bドメインのサポート
- FRA
- QoSの細かい設定
- 有線クライアントシングルサインオン(SSO)
- グラフィカルユーザインターフェイス(GUI)サービスサポートSSO
- SSOが有効なWLCサービスサポートサポート
- マレーシアにおける規制ドメイン - Kのサポート
- AP 1800/2800/3800でのFlexConnectモードのサポート
- デフォルトのRADIUSフォールバックがパッシブとして設定される

## 8.2.100.0

- Test AAA RADIUSコマンド
- AAAサーバを介したダイナミック管理ユーザログイン
- プロファイリング用のカスタム(HyperText Transfer Protocol)HTTPポート
- Auto Switch Port Trace(SPT)の不正クライアント情報検出
- 大規模な仮想WLC(vWLC)
- Smart Licensing
- 規制ドメインの変更
- NBARおよびNetflowの更新(Pack 14.0)
- WLC NetFlowの機能拡張
- マルチキャストドメインネームシステム(mDNS)デフォルトデータベースのChromecastサービス
- メッシュ : イスラエル向け2.4 GHzメッシュバックホール
- メッシュ : メッシュバックホールからのRX-SOPのサポートの削除
- メッシュ : メッシュネットワークのPSKプロビジョニングサポート
- トンネリングプロトコル ( GREトンネル ) 用のレイヤ3(L3)インターフェイス
- ATFフェーズ2
- 40/80(MegaHertz)MHzおよび送信機能のワイヤレス侵入防御システム(wIPS)サポート
- APプロビジョニングPnP
- Passpoint 2.0 R2認定
- 高度なセキュリティを備えたHyperLocationモジュールの拡張wIPSサポート
- WLC 5520/8510/8540 : 日常的にサービスポートを使用するサポート

- WLC 5520/8510/8540 : ローカルEAPのサポート
- WLC 5520/8510/8540 : 有線ゲストアクセスのサポート
- WLC 2505 : 最大200のインスタンスサービスに対するBonjourゲートウェイのサポート
- 一部の国でチャネルおよび送信(Tx)電力のサポートが向上
- WLCあたり最大110の国コード ( 8.2より前のWLCでは20をサポート )
- Web認証およびWebAdmin用のTLSv1.2のサポート
- QoSマッピング(DSCP)
- AP 3700:Flexible Antennaポートのサポート
- AP 3700 : デイジーチェーンをサポート
- 最大32台のRADIUSサーバをサポート ( 17個前 )
- ACLあたり最大20個のURLをサポート ( 10個前 )
- DNS ACLごとに最大40個のIPアドレスを学習できる ( 20個前 )
- FlexConnectグループの設定可能なEAPOLキータイムアウト – ローカル認証

### 8.1.131.0

- ハイパーロケーションモジュールのサポート

### 8.1.122.0

- ATF
- AP 1830のサポート

### 8.1.111.0

- AP 1850のサポート
- Universal Small Cell(USC)8x18のサポート
- 11v:Basic Service Set(BSS)Transition Management
- Flex DFSを使用したDynamic Bandwidth Selection(DBS)
- WLC 8540およびWLC 5520でのセキュリティグループタグ(SGT)交換プロトコル(SXP)のサポート
- QoSマップ ( DSCPベース )
- WGBの高速ローミング
- メッシュの収束
- CLIの追加 : `config ap cert-expiry-ignore {mic | ssc} enable`

### 8.1.102.0

- WLC 5520のサポート
- WLC 8540のサポート
- FlexConnect向けAVC
- APでのFlexConnectクライアントのデバッグ
- FlexConnectグループVLANのサポート
- VLAN名のFlexConnect AAAオーバーライド
- HA SSO(HA-SSO) : イベントのトラップ ( WLCがホットスタンバイになると、バルク同期が完了 )
- HA SSO:Management Information Base(MIB)によるスタンバイステータスの監視

- HA:show redundancy peer-system { statistics | cpu |メモリ}
- Microsoft(MS)Lync Software Defined Networking(SDN)の統合
- 管理ユーザセッションアカウンティングレコードのサポート
- ゲストアンカーの冗長性
- 失敗したログインの送信元IPアドレスを記録する
- AAAサーバに対する不正APの検証
- WLCで設定可能なRADIUSのフレーム最大伝送ユニット(MTU)サイズを許可する
- DNS RADIUS機能の変更
- 設定可能なdot1x除外の試行(1 ~ 10)
- RADIUSプロトコルの複数ユーザデータグラムプロトコル(UDP)送信元ポートのサポート
- WLC上のEoGRE
- AP上のEoGRE
- Bluetooth低エネルギー(BLE)ビーコンの管理
- システムのリセットではなく再起動によるWLCの迅速なリブート
- Dynamic Bandwidth Selection(DBS)
- 柔軟なDFS ( 動的周波数選択 )
- Wi-Fi干渉によって引き起こされるイベント駆動型無線リソース管理(ED-RRM)
- 最適化されたローミング+ 802.11v
- リリース間コントローラモビリティ(IRCM)によるシームレスなローミング
- 新しいモビリティのサポートが不要 : モビリティコントローラ
- vWLCのカーネルベースの仮想マシン(KVM)サポート
- メッシュ : メッシュAPのマルチカントリーWLCサポート
- メッシュ - 5GHz RAP上のRRM
- WLC 5520、7510、および8500でのTrustSecサポート
- vWLC : デフォルトでは、WLANはローカルでスイッチングされます
- 2ry HA-SSOコントローラ用SNMPモニタ
- 802.11kの設定はGUIから利用可能
- メッシュAPに対する複数規制ドメイン ( 国コード ) WLCサポート
- FlexConnectグループVLANのサポートはAP固有を上書き
- vWLCでのFlexConnect AVCのサポート

## 8.0.140.0

- RADIUSプロトコルの複数ユーザデータグラムプロトコル(UDP)送信元ポートのサポート
- WLC webadmin SHA256自己署名証明書のサポート
- WLCリブート前にフラッシュに保存されたログ(show logging last-reset)
- PTR RRによるmDNS bonjourメッセージの更新
- RFプロファイルのアウトオブボックスでのSNMP MIBSサポート

## 8.0.132.0

- -BドメインAPのサポート
- WLANごとに最適化されたローミングを無効にする機能 ( CHDを無効にする )
- APグループごとのデフォルトNAS-IDはnoneです。

注:-Bドメイン上のAP 1572は、バージョン8.0.135.0まで正しくサポートされています。

## 8.0.120.0

- AP IW3702のサポート
- CLIの追加 : config ap cert-expiry-ignore {mic | ssc} enable

## 8.0.110.0

- Universal Stock Keeping Unit SKUのサポート
- AP 1570のサポート
- Fast SSID Changeはデフォルトで有効
- WLC 2500 : 任意のポートへのAPまたはクライアント接続を介して利用可能なExpress Setup
- [CSCur27551](#)が原因 SSLv3はデフォルトで無効になっています
- AP 2700でAUXイーサネットポートを有効/無効にする機能
- CLIコマンドshow mesh running-config <ap-name> を使用して、Flex+Bridge APのVLANマッピングを確認します。
- IPアドレスの重複が検出された後、最初のクライアントが開始される

## 8.0.100.0

- AP 1700のサポート
- 11acモジュール
- -Fドメインのサポート ( インドネシア )
- 1600および1700 AP向けCleanAir Express
- OEAP AP602 GUIの拡張機能
- OEAPリンクテスト
- OEAP : 音声パケットサポートの優先度が高い ( 音声QoS )
- OEAPファイアウォール
- OEAP AP602スプリットトンネリング
- 702W(Power over Ethernet)PoE管理 ( PoEポートを無効にする機能 )
- イーサネットポートごとに702W VLANタグ
- ローカルスイッチングでのFlexConnect VideoStream
- FlexConnect : リポートせずにAPモードをローカルからFlexConnectに変換します。
- FlexConnect APがWLCのマルチキャストグループに参加
- FlexConnectプロキシARP
- FlexConnect +メッシュ ( ブリッジ )
- メッシュ - 高速コンバージェンス
- メッシュ - MACアドレス認証なし
- 6,000クライアントのvWLCサポート
- CAPWAPデータキープアライブサポート
- FlexConnect AP上のPoint-to-Point Protocol over Ethernet(PPPoE)クライアント
- WLC 2500 : 有線ゲストアクセスのサポート
- ベンダー固有属性(VSA)値ペア(AVP)
- レルム別のRADIUS選択
- HTTPS リダイレクト
- 802.1x SSIDの誤ったWLAN IDでの拒否
- SSID/プロファイル名の変更機能
- ダイナミックインターフェイスからのping ( 拡張ping )

- show ap summaryの出力に含まれるIPアドレス
- GUIでのIPアドレスごとのAP検索
- WLCのパフォーマンスを監視するためのCLI show system...の追加
- CLIのshow run-config startup-commandsを追加する
- APモードを選択するAP CLI#capwapap mode local/bridge)
- CLIの追加 : show client detailでプロファイル/ssid名を表示
- CLIの追加 : show ap join stats現在の実名を表示
- CLI show rogue ap summary – 拡張オプション
- すべてのAPに対してTelnet/SSHを有効にする機能
- GUI Webカラーテーマ
- SNMPおよびGUIによるAP発光ダイオード(LED)のフラッシュ
- debug client shows AP name
- 組織固有識別子(OUI)/デバイスプロファイルリストの更新機能
- 11vサポート(ダイレクトマルチキャストサービス(DMS)およびBSS最大アイドル期間)
- 11r混合モードのサポート
- DHCPオプション82、サブオプション5およびサブオプション151/152
- FIPS 140-2
- 特定のネイバーSSIDと干渉APおよびクライアント検出
- QinQタグ拡張 ( 802.1Q-in-Q VLANタグ )
- RFプロファイルでのダイナミックチャネル割り当て(DCA)
- RX SOP
- 最適化されたローミング
- Proxy Mobile IPv6(PMIPv6) : モバイルアクセスゲートウェイ(MAG)としてのFlexConnect
- HA-SSO一括同期ステータス
- HA-SSOの新しいデバッグ/表示
- HA-SSO設定可能なキープアライブタイマー/リトライ
- HA-SSOは、ピアのRedundancy Management Interface(RMI)Internet Control Message Protocol(ICMP)pingをUDPメッセージに置き換えます
- HA-SSOデフォルトゲートウェイの到達可能性チェック機能拡張
- 内部DHCPサーバのHA-SSOサポート
- スリーピングクライアント機能のHA-SSOサポート
- OEAP 600 APのHA-SSOサポート
- 802.11acのHA-SSOサポート
- IPv6のサポート ( フェーズIII )
- IPv6:Terminal Access Controller Access Control System(TACACS+)IPv6のサポート
- mDNSフェーズ3 ( ISEポリシー、プロファイル拡張、PIインスタントサービス )
- AVC AAA Override
- AVC指向性QoS
- ローカルプロファイルとのAVC統合
- WLANでのアプリケーション単位のAVC、クライアントレート制限
- 80 MHz用無線モニタ
- 香港の規制ドメイン – Sを追加
- 国コードKRをKE ( 韓国向け ) に変更
- 国番号JP ( 日本向け ) が削除されました
- 友好的な不正APの最大RSSI
- Wi-Fi Protected Access/TKIPはCLIでのみ設定可能
- サードパーティ製NMSでのNetFlowサポート
- pmipv6 mag statsのクリア ( pmipv6 mag statsのクリア )

- debug clientの出力でasso/reassoを実行しているAP名
- 設定済みのconfig persistentオプション
- WLCにインストールされているすべての証明書を確認するCLIコマンド(show certificate all)
- VLANトランスペアレント機能は、flexconnect-mesh上のすべての未定義VLANをブリッジします。
- APのPoEステータスを確認するWLCのGUIの[PoE]カラム([WIRELESS] > [Access Points])
- APプライミング加入タイムアウトのGUIサポート
- 設定可能なwebauthの必要なタイムアウト
- WebパススルーwLANでのクライアントのスリーピングサポート
- queue-info-max統計情報をクリアする機能(clear queue-info [detail <queue-id>/all/capwap/dot11/ipv6/mobility/redundancy])
- iTunesホーム共有がデフォルトのmDNSリストから削除されました
- GUIを介してSNMPコミュニティを変更できる
- MFPトラップを無効にする機能
- GUIボタンごとにAVC統計を無効にする機能
- 20/40/80MHzオフチャネルスキャン ( サービスチャネル上 )
- Windows 8プロファイルのサポート

## 7.6.120.0

- AP 2700のサポート
- AP 700Wのサポート
- WLC 2500:WLAN Expressの設定
- 帯域選択中間RSSIのサポート

## 7.6.100.0

- AP 3700のサポート
- AP 1530のサポート
- AP 3600でのUniversal Small Cell 5310のサポート
- APS 700 ( Aドメイン ) のDFSチャンネル
- アクセスコントロールリスト(ACL)
- Secure Lightweight Directory Access Protocol(LDAP)
- アカウンティング用の着信端末ID
- WLANごとのEAPタイマー
- イーサネットフォールバックシャットダウン
- レイヤ2(L2)ACL GUI
- 11hチャンネルスイッチ ( より簡単なCLI設定 )
- IOS 7向けAppleキャプティブバイパス
- HA環境での11acの設定
- NBAR 3.7の最終サポート(AVC v13)
- Transmit Power Control(TPC)min/max値 ( バンド有効 )
- GUIごとのメッシュ優先ペアレント
- メッシュLSC認証 ( MACバイパス )
- 中国 – Hドメインの移行 ( 5150 MHz ~ 5350 MHzの屋内使用が可能 )
- メッシュデিজネーション
- WLC HA SKUにライセンスを追加可能

- WLC 2500:1000のスリーピングクライアントのサポート ( 以前は500 )
- WLC 5508:1000のスリーピングクライアントのサポート ( 以前と同じ )
- WiSM 2:1000のスリーピングクライアントのサポート ( 以前と同じ )
- WLC 7500:25000スリーピングクライアントのサポート ( 以前は9000 )
- WLC 8500:25000スリーピングクライアントのサポート ( 以前は9000 )
- WLC 8500 : 新しいモビリティをサポートしない
- vWLC:500のスリーピングクライアントのサポート ( 以前と同じ )
- HA SSO : ネットワークの収束後にメンテナンスモードから自動的に回復

## 7.5.102.0

- AP 3600での802.11acモジュール(Wave 1)のサポート
- AP 700のサポート
- アンカーコントローラとしてのWLC 8500のサポート
- WLC 7500でのSFP-10G-LRのサポート
- L2 ACL
- Zドメインを導入 ( オーストラリアおよびニュージーランド )
- RADIUSおよびTACACS+ DNS
- 送信元インターフェイスを使用したping
- show ap summaryのAPのIPアドレス
- show client summaryのIPアドレス
- CLIの追加 : Grepのサポート
- GUIのフィルタの変更でのワイルドカードのサポート
- メッシュAPは、コントローラに加入する前にpingできます
- 1552 APのVLANタグ
- ユーザ名またはIPv4/IPv6によるクライアントの認証解除
- ローカル管理ユーザがTelnet対応かどうかを選択可能
- WLCごとに許可されるAPの最大数
- 新しいモビリティおよびモビリティコントローラ(MC)のサポート
- L2スイッチを介したHAクライアントSSOおよび冗長ポート(RP)
- 内部ポリシー分類エンジン
- AVC/NBAR2のプロトコルパック更新機能
- mDNSフェーズII(Location Specific Services(LSS)、mDNS-AP、プライオリティ mac、Origin of Service)
- スリーピングクライアントのサポート
- セキュリティレベルごとの不正ポリシー
- 不正抑止のデータレート選択
- モビリティサービスエンジン(MSE)に対する不正クライアントの検証
- スタンドアロンのFlexConnectで不正抑止を継続できる
- 不正を抑止するAPの数を自動的に割り当てる
- 不正ポリシーごとのワイルドカードSSID
- WLCデータベースから不正を削除するための不正ポリシーの設定
- vWLCでのDTLSサポート
- vWLCでのAPレート制限
- FlexConnect ( ローカル認証 ) 用のProtected Extensible Authentication Protocol(PEAP)および Extensible Authentication Protocol-Transport Layer Security(EAP-TLS)
- FlexConnectグループおよびAPのWLANからVLANへのマップ

- FlexConnect APのクライアント単位のACL
- L2ACL FlexConnect
- FlexConnectローカルスイッチングのQoS AAAオーバーライド
- FlexConnect : クライアントのロードバランシングのサポート
- FlexConnect APでのPPPoEのサポートが不要
- Flex APおよびメッシュAPで11w
- PMIPv6 ( プロキシモバイルIPv6 ) :CWA/外部Web認証のサポート
- MSEからのAer scoutの除去
- MSEでのRESTアプリケーションプログラミングインターフェイス(API)のサポート
- MSEはRFIDタグのRSSIを公開する
- BBX ( ビルボード交換 )
- OEAP : スプリットトンネリング
- Cisco License Manager(CLM)はサポートされなくなりました
- デフォルトの802.1pタグが変更されました ( Platinumは6から5に、Goldは5から4に、Silver 2は3から )。
- OpenSSL v1.0を使用して生成された証明書のサポート
- CLIコマンドshow queue-info addition
- vWLCでのデータDTLSのサポート
- CAPWAPv6 APマルチキャストモードのサポート
- AAAオーバーライドQoSサポート
- AP 1130、1240、1040、1140、1600、2600、3500、3600のOEAPサポート

#### 7.4.150.0

- -BドメインAPのサポート

#### 7.4.140.0

- config ap cert-expiry-ignore {mic | ssc} enable

#### 7.4.130.0

- [CSCur27551](#)が原因、SSLv3はデフォルトで無効になっています

#### 7.4.100.0

- AP 1600のサポート
- WLC 2504:75台のAPと1000台のクライアントのサポート
- WLC 2504 : アンカーWLCのサポート
- WLC 2504 : リンクアグリゲーション(LAG)のサポート
- WLC 7500:LAGのサポート
- WLC 8510:LAGのサポート
- NBAR2を使用するAVC
- Bonjourゲートウェイ ( mDNSサポート - フェーズI )
- Wireless Security and Spectrum Intelligence(WSSI)モジュールのサポート
- 802.1x + web認証のサポート
- Web認証クライアントのDNSをブロックする事前認証ACLのサポート

- インターフェイス、WLAN、またはAPグループごとのNAS-ID
- 着信側ステーションIDの新しい属性
- FlexConnectグループ内でのRADIUS作成のサポート ( CLIの変更 )
- 新しいTACACS+コマンドセット
- 254文字の口ケーション名 ( APの口ケーション )
- より多くのDHCP opt 82属性のサポート
- SSHファイル転送プロトコル(SFTP)
- HA SKUコントローラによるN+1サポート
- WLANごとのユーザアイドルタイムアウト
- WLANごとのユーザアイドルしきい値
- 接続を11nクライアントのみに制限する
- イーサネットポート使用率ごとのロードバランシング
- クライアントおよびタグのしきい値警告
- wIPSの機能拡張
- wIPS攻撃の抑制
- 強化された不正抑止
- 拡張ローカルモード(ELM)のすべてのシグニチャのサポート
- wIPSの新しいシグニチャ
- 追加のDHCP opt 82属性
- NetFlowプロトコルのサポート
- 着信側ステーションIDの属性
- 802.11w:MFP
- 802.11k
- Link Layer Discovery Protocol(LLDP)のサポート
- 屋外でのGlobal Positioning System(GPS)のサポート
- 音声自動設定用WLAN
- WLCからサードパーティ証明書をバックアップする機能
- クライアントのアソシエーション/アソシエーション解除に対するSNMPトラップサポート

### 7.3.112.0

- 新しいモビリティ

注:新しいモビリティはバージョン7.4ではサポートされていません。バージョン7.5以降ではサポートされています。

### 7.3.101.0

- vWLCのサポート
- WLC 8500のサポート
- AP 2600のサポート
- AP 1552CU/EUのサポート
- AP802Hのサポート
- WLC 8510:6000 APのサポート
- WLC 8510:2000のFlexConnectグループのサポート

- WLC 8510:64000クライアントのサポート
- WLC 8510:6000 APグループのサポート
- WLC 8510:FlexConnectグループあたり100台のAPをサポート
- WLC 8510:4096 VLANのサポート
- WLC 8510 : 不正APおよび3224000000の不正クライアントのサポート
- WLC 7500:6000 AP、6400クライアント、2000 Flexグループのサポート
- WLC 7500:64000クライアントのサポート
- WLC 7500:2000のFlexConnectグループのサポート
- WLC 7500:6000 APグループのサポート
- WLC 7500:FlexConnectグループあたり100台のAPをサポート
- WLC 7500:4096 VLANのサポート
- WLC 2500:2500の不正クライアントと2000の不正APのサポート
- WLC 5508:2500の不正クライアントと2000の不正APのサポート
- WLC WiSM2:5000の不正クライアントと4000の不正APのサポート
- WLC 7500 : 不正クライアント32000不正APのサポート24000を提供します
- vWLC:1500の不正クライアントと800の不正APのサポート
- WiSM 2:10,000個のRFIDのサポート
- WLC 7500:50,000 RFIDのサポート
- WLC 8500:50,000 RFIDのサポート
- vWLC:3000 RFIDのサポート
- Honorベースのライセンス(Right to Use(RTU)ライセンス)
- FIPS 140-2
- HA AP SSO
- FlexConnect – スプリットトンネリング
- FlexConnect : 中央/ローカルスイッチングでの802.11r ( 高速移行 ) のサポート
- FlexConnect : ローカルスイッチングWLANでのネットワークアドレス変換(NAT)とポートアドレス変換(PAT)
- FlexConnect:PPPおよびPPPoEのサポート
- FlexConnect:FlexConnectローカルスイッチモードでのWGB/ユニバーサルWGBサポート
- FlexConnect:802.11u(HotSpot 2.0)のサポート
- FlexConnect:VLANベースのローカルおよび中央スイッチング
- APパケットダンプ
- ローカルモードとフレックスモードのHTTPプロファイリング ( RADIUSプロファイリング )
- WLAN/ユーザごとの双方向レート制限 ( 帯域幅契約 )
- PMIPv6 ( プロキシモバイルIPv6 )
- CLIによるIPv6のグローバルな有効化/無効化
- CLIによるshow run-configの出力のFTPサーバへのアップロード機能
- APでイーサネットVLANタグを使用可能
- 高密度のデフォルトRFプロファイル
- 設定済みのAPグループ
- マルチキャスト改善
- 802.11n音声コールアドミッション制御(CAC)
- 802.11nビデオCAC(トラフィック仕様(TSPEC)ベースのビデオコール、Ciusおよびフェースタイムコール)
- WIPS – 自動SPT
- 11uの新機能 ( ホットスポット )
- 1520および1550に対するローカル/フレックス/スニファ/不正検出/モニタのサポート
- DHCPオプション82:APの名前とSSIDを指定可能

- RADIUS CallStationIDでAPの名前とSSIDを指定する機能
- 802.1Xを使用したWLAN(静的なWired Equivalent Privacy(WEP)によるMAC認証が失敗した場合)
- ユーザ名はクライアントの概要に表示されます
- WLANごとのRADIUSサーバ数は3 ~ 6です。
- APグループごとのRADIUS送信元インターフェイス
- CAPWAPパケットのVLANタギングのサポート
- webauthまたはwebauthadminを個別に有効/無効にできる

## 7.2.110.0

- AP 2600のサポート
- 個人所有デバイスの持ち込み(BYOD) ( ISE自動プロビジョニング )
- ローカルモードとFlexConnectモードでのネイティブセンサーDHCPサポート ( デバイスプロファイリング )
- WLC用ISE NACデバイスプロファイラ
- ローカルスイッチングFlexConnectの外部Web認証
- ローカルモードのAP用の802.11r ( 高速ローミング )
- AP 1520/1550でのローカルおよびflexconnectモードのサポート
- タグマルチキャストアドレスのサポート
- RADIUSクライアントプロファイリングのサポート
- Licensed Data Payload Encryption(LDPE)コントローラから非LDPEにアップグレード可能

## 7.2.103.0

- FIPS
- WLC 7500による3000 APのサポート ( 2000以前 )
- WLC 7500による30,000クライアントのサポート ( 以前は20,000 )
- WLC 7500による1000のFlexConnectグループのサポート ( 500以前 )
- WLC 7500は、1 Gb ( 以前は250 Mb ) への帯域幅の中央スイッチをサポート
- WLC 7500による3000 OEAP(OEAP 600s)のサポート
- 1000台のAPに対するWiSM2のサポート ( 500台前 )
- 15000クライアントのWiSM2サポート ( 以前は7500 )
- 20 GのWiSM2データプレーン ( 10 G前 )
- CleanAir : 永続型デバイス回避
- CleanAir:Event-Driven Radio Resource Management(EDRRM)
- CleanAir : 未分類の干渉しきい値/トラップ
- 不正の機能拡張
- Rogue : 不正の検出/分類に必要な最小RSSI
- Rogue – 不正検出レポートの間隔
- Rogue – 一時的な不正間隔
- Rogue - Rogue AP Ignore List
- Wi-Fiダイレクトおよびピアツーピア(P2P)ブロッキング
- TPCv2
- RFプロファイル
- Flexconnect : ハイブリッドリモートエッジアクセスポイント(H-REAP)は、このリリース以降はFlexConnectと呼ばれます

- Flexconnect - P2Pブロッキング
- Flexconnect:FlexConnectによる効率的なAPアップグレード
- Flexconnect:FlexConnect ACL
- Flexconnect : ダイナミックVLANを割り当てるためのAAAオーバーライド
- Flexconnect : 音声クライアントの高速ローミング
- SKC(Sticky Key Caching)のサポート
- バイナリではなくAmerican Standard Code for Information Interchange(ASCII)としてDHCPオプション82を使用
- WLC 7500での中央スイッチングモードのサポート
- 再起動なしの追加ライセンス
- 合金QoS
- APとコントローラ間のDSCPを信頼する
- WLC用TrustSec SXP
- IPv6 : コントローラおよびAPからのルータアドバタイズメント(RA)のブロック
- クライアントごとのIPv6アドレスの可視性
- IPv6:Neighbor Discovery Protocol(NDP)プロキシとIPv6パケットのレート制限
- IPv6:Unknown Address Multicast Neighbor Solicitation(NS)Forwarding
- Cisco Compatible Extensionsバージョン6(CCXv6)
- ライセンス不要のNational Information Infrastructure 2(UNII-2)およびUNII-2を1552台のAPに拡張
- 802.11u(Hotspot 2.0)
- Key Telephone System-based CAC(KTS-based CAC)
- StadiumVisionマルチキャスト
- ローカルWeb認証/中央Web認証サポート(LWA/CWA)
- Online Certificate Status Protocol(OCSP)
- EAPパススルーを使用したオープンセキュリティWLAN
- CLIを使用したClientLinkの設定のみ
- NATの背後にあるAPのサポート
- RFC 2869準拠
- iWLAN AAAオーバーライド : クライアントインターフェイス/VLANオーバーライド
- メッシュ : VLANトランスペアレントモードが有効な場合に、ネイティブVLANがメッシュアクセスポイント(MAP)イーサネットポートに送信されない
- メッシュ : AP 3600の屋内メッシュサポート
- MSE:Virtual appliance ( 仮想アプライアンス )
- MSE : ハイアベイラビリティ
- 600 OEAP:CLIを使用してローカルSSIDとローカルポートを無効にできる
- 600 OEAP : 電力、チャンネル、チャンネル幅を設定可能
- 600 OEAP – デュアルRLANサポート
- WLCの音声コール数を表示するCLIコマンド(`show cac voice stats [ 802.11a | 802.11b ] <ap-name>`)
- AP HAフォールバックを無効にする機能
- 複数のMACアドレスをデバッグする機能
- キャプティブポータルバイパスのサポート

## 7.1.91.0

- AP 3600のサポート

## 7.0.252.0

- config ap lifetime-check {mic | ssc} enable

## 7.0.251.2

- [CSCur27551](#)が原因、SSLv3はデフォルトで無効になっています

## 7.0.220.0

- Online Certificate Status Protocol(OCSP)
- show ap bundleの概要
- config network ap-discovery nat-ip-onlyの概要
- AP 1040での帯域選択のサポート
- パッシブスキャンを実行しているクライアントは、最初の試行でロードバランシングを有効にしてWLANに参加できます

## 7.0.116.0

- WLC 7510のサポート
- WLC 2504のサポート
- WiSM 2のサポート
- インターフェイスグループのサポート
- DHCPダーティごとのVLAN選択
- WLAN AAA Override : クライアントインターフェイスオーバーライド
- RADIUSサーバ上書きインターフェイス
- 外部WLCマップごとのVLAN選択 ( 外部マップ )
- VLAN選択およびL2/L3マルチキャスト最適化
- DHCPオプション60 +ベンダー名
- DHCPオプション82(AP\_Eth\_MAC)
- ネイバー探索パケット(NDP)パケットの暗号化
- Cisco Discovery Protocol(CDP)over the airはデフォルトで無効になっています ( 非メッシュ )。
- RFスタティックグループリーダー
- 100のH-REAPグループのサポート
- H-REAPグループのOpportunistic Key Caching(OKC)
- H-REAPローカル認証
- H-REAPグループとローカルRADIUSサーバ
- H-REAP耐障害性
- WLANごとのクライアント数の制限
- 不正自動抑止レベル
- ELMを使用したwIPS
- ISE v1.0でのサポート
- パスワードポリシー(製品セキュリティベースライン(PSB))
- スタティックIPクライアント用のWLC間のローミング ( スタティックIPトンネリング )
- 高速APフェールオーバー
- WebProxy

- MACフィルタでのWeb認証の失敗
- チリとロシアの規制承認
- 音声診断ツール
- チャネル120、124、116、および132のドロップ
- メッシュ – 優先する親の選択
- メッシュ : メッシュバックホールとして2.4 GHz
- メッシュ : ユニバーサルクライアントアクセス
- CDP over the Air
- シスコ以外のWGBのサポート
- NTP認証のサポート
- WLCから古いクラッシュファイルを無効にする機能(clear crash-files...)
- DHCPプロキシステータスがshow run-config の出力に追加される
- 同じセキュリティ設定で複数のSSIDを作成し、PSKで区別する機能
- show client detailの出力に含まれるAPの名前
- IGMPスヌーピングのサポート
- WMM非準拠U-APSDクライアントサポート

## 7.0.98.218

- Cisco Centralized Key Management(CCKM)最大タイムスタンプ検証の柔軟性
- WGB VLANクライアント機能

## 7.0.98.0

- AP 3502のサポート
- 複数のVLANを持つWGB
- 5508で500台のAPをサポート
- 500 AP加入/イメージの同時ダウンロードをサポート
- ビデオ/メディアストリーム
- CleanAir
- 開始プロトコル – CAC(SIP CAC)
- パッシブ クライアント
- Spectrum Expert 4.0
- RRMのTX電力の上限と下限を設定可能
- 内部DHCPリースをクリアする機能
- 無線インターフェイスごとにCDPを有効/無効にできる

## 6.0.202.0

- プライオリティごとに集約Macサービスデータユニット(A-MSDU)を無効にするCLI
- -R規制ドメインを追加

## 6.0.188.0

- Band Select
- ロード バランシング
- TPC最大/最小制限

- APイメージの事前ダウンロード
- オフチャネルスキャンの延期
- APは、ディスカバリ応答メッセージで検出された同じコードバージョンのWLCを優先します
- APがプライマリ/セカンダリ/ターシャリWLCへの加入を試行する際の設定可能なタイマー ( プライミング加入タイムアウト )

## 6.0.182.0

- WLC 5508のサポート
- メッシュモードでの1522、1524、1130、および1240のサポート
- 自己免疫性
- ビームフォーミング ( ClientLinkとも呼ばれる )
- ログインバナーファイル
- コントローラのデータプレーンがクラッシュしたときのパケットキャプチャファイル
- ピニングとカスケードを防止するように再設計されたDCAアルゴリズム
- Transmission Control Protocol ( TCP ; 伝送制御プロトコル ) : 最大セグメントサイズ(TCP MSS)の調整
- Voice over IP(VoIP)スヌーピング ( SIP音声コール )
- Telnetはデフォルトで無効になっている
- GUIの追加 : Tx電力制御のしきい値
- GUIの追加 : [Radios]ページ([Wireless] > [Access Point] > [Radios])
- GUIの追加 : AP加入統計ページ
- GUIの追加 : DHCP opt82
- GUIの追加 : Telnet-SSH設定
- GUIの追加 : LSCの設定
- AP 1130および1140のOEAPサポート
- メッシュ - ブリッジデータレート自動
- メッシュ : 屋外メッシュで侵入検知システム(IDS)を無効にできる
- 128ビットWEPは使用できなくなりました
- APグループを削除する前に、すべてのAPを新しいグループに移動する必要があります
- スタティックIPアドレスを持つAPでDNSサーバとAPドメインを指定できる
- IPv6ブリッジングを可能にするためにマルチキャストを有効にする必要がある
- auth/acct access-requestでMACアドレスのデリミタを指定できる
- APごとの不正検出
- ピコセルの構成は利用できなくなりました
- called-station-idおよびcalling-station-idのMACアドレスが小文字に変更されました。
- 5500 WLCで192のAPグループをサポート
- スニファモードのAP
- フラグメント化されたpingはサポートされない
- 2.4 GHz帯域で40 MHzチャンネル
- チャンネル120、124、および128は、-E規制ドメインAP 1131、1243、および1252で無効になります
- IPSecはサポートされていません
- レートシフト

## バージョン6.0より前でサポートされる機能

- LAG
- マルチキャスト – マルチキャスト
- QoS DSCP
- コールアドミッション制御(CAC)およびU-APSD
- LWAPP APへのIOS WGBアソシエーションのサポート
- AP グループ
- メッシュイーサネットブリッジング
- CPU ACL
- 同じSSIDを持つ複数のWLAN
- 802.1x 認証での条件付き Web リダイレクト
- WLANごとにアカウントिंगサーバを無効にする機能
- DFS
- L3マルチキャストローミング
- SPECTRALINK電話用EDCA
- RFIDタグのサポート
- マルチキャストに依存しないブロードキャストの有効化/無効化
- ARPパディング
- MFP
- ローカル認証
- 負荷ベースのCAC
- LDAPサポート
- 迅速なサポートとリクエストのサポート
- DHCPプロキシ
- モビリティ – 外部/アンカー
- モビリティ : シンメトリックトンネリング
- クライアントMFP
- TACACS+のサポート
- ACL カウンタ
- メッシュイーサネットVLANタグging
- イーサネットブリッジクライアントのメッシュマルチキャストモード(in/in-out)
- ローミングL2/L3のメッシュマルチキャストサポート
- メッシュ限定の音声サポート ( 屋内 )
- WLANごとのカバレッジホール検出
- CAPWAP
- コンテキスト認識型
- wIPS
- LSC
- AP認可

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。